

つくば市中心部における郵便ポストの立地分析 Location Analysis of the Post in the Central Zone of Tsukuba

曾我 俊生 (地球科学専攻)
SOGA Toshio (Master's Program in Geosciences)

- 1. 目的:** 本研究では、つくば市中心部における郵便ポストの空間的分布を、地区ごとのデータや周辺環境との関連から分析することを目的とする。
- 2. 対象地域:** 対象地域は TX つくば駅を中心として北大通りから南大通りの間とし、吾妻1丁目～4丁目、竹園1丁目～3丁目、東新井に立地している郵便ポストを分析する。ただし周辺環境を考慮する場合、隣接地区も研究対象にする必要があるため、分析を行う際には本研究対象地域の周辺部にある郵便ポストも使用する。
- 3. 手法:** ArcPad7.0を用いて対象地区における郵便ポストの位置情報を取得する。データは ArcGIS9.2において、人口密度データとのオーバーレイや、郵便ポストを用いたボロノイ分割を行い立地分析する。またその際、収集回数やポストの形状、周辺の道路環境との関連性も考慮する。
- 4. 結果:** 対象地域には合計 11 基のポストがあり、郵便局やコンビニエンスストア、商業施設の前に設置されていた。多くは地区の境目に設置されている。TX つくば駅や筑波学園郵便局のある吾妻 1 丁目には 3 基のポストが分布しているが、その周囲の地区では 1 基もしくは 0 基となっている。

研究対象地域の11基と周辺部の16基、合計27基の郵便ポストを用いてボロノイ分割を行った結果が図1である。吾妻1丁目にあるポストの勢力圏が小さいのに比べ、周囲の地区の勢力圏は大きい。ただし吾妻1丁目は商業や業務の中心地であり、人々の往来が多いことから、実際の吸引力は大きいものと考えられる。

また図1や写真1にあるように、つくば市中心部の道路は幅員の広い道路が多く、路肩に一時停車させて投函しやすい環境にある。幅員が狭い場所であっても周辺の商業施設に車を止めることが可能であり、郵便ポストの立地は車社会のつくば市に適合していると考えられる。

- 5. 考察:** ポストは住宅密集地に立地するのではなく、商業や業務の中心地に分布している。買物ついでに、また都心へ出かけるついでに投函するという人々の傾向に沿うよう、ポストが分布していると考えられる。道路距離や住宅への近接性に拠るのではなく、人々の移動手段と生活の動線に依拠しているのが、つくば市中心部の郵便ポストの立地構造である。

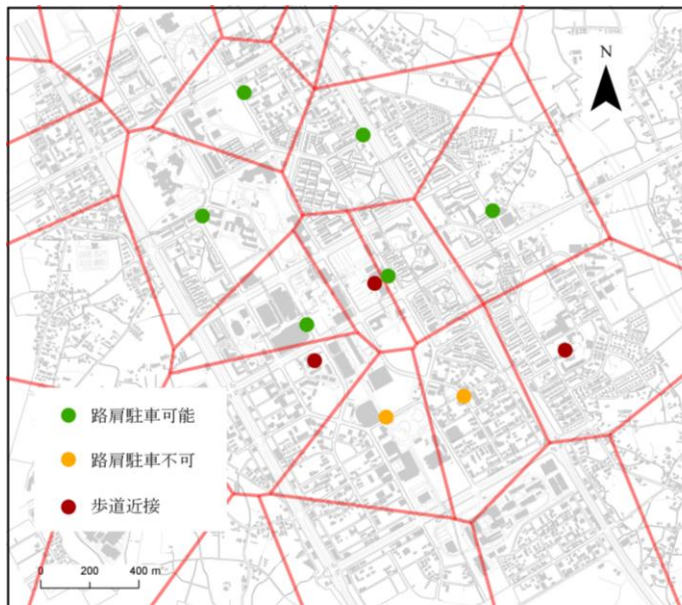


図1 郵便ポストを用いたボロノイ分割とポストの立地環境



写真1 松見公園斜め向かいに立地する郵便ポスト

つくば市中心部は幅員の広い道路が多い。こういった道路に面したポストの場合、路肩に一時停車して投函しやすい。

(2009年11月 曾我撮影)